

環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
 (事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 25年 3月 4日

## オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

|   |   |                |              |
|---|---|----------------|--------------|
| プロジェクト名 <sup>1</sup>  |   |                |              |
| 宮城県登米市 復興共生住宅における木質バイオマス燃料利用による温室効果ガス排出削減プロジェクト ~手のひらに太陽の家をモデルにした循環型の地域づくり~ |   |                |              |
| 【依頼者】プロジェクト代表事業者  |   |                |              |
| 事業者名(フリガナ)  | 特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク(トクテイヒエイリカツドウホウジン ニホンノモリバイオマスネットワーク)   |                |              |
| 住所  | 宮城県栗原市志波姫堀口源光 11-1  |                |              |
| 代表者氏名   | 佐々木 豊志  | 代表者役職          |              |
| 担当者氏名   | 唐澤 晋平   | 担当者<br>所属部署・役職 | 事務局長         |
| 担当者 E-mail  | office@jfbn.org   | 担当者電話番号        | 0228-22-6721 |
| プロジェクト事業者・プロジェクト参加者   |   |                |              |
| プロジェクト事業者名  | 栗駒木材株式会社  |                |              |
| プロジェクト参加者名  | 合資会社住田交運、けせんプレカット事業協同組合   |                |              |
| オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者   |   |                |              |
| 事業者名(フリガナ)  | 特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク(トクテイヒエイリカツドウホウジン ニホンノモリバイオマスネットワーク)   |                |              |
|   | 以下のうち当てはまる項目に☑<br><input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。<br><input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。<br><input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。 |                |              |
| 妥当性確認機関   |   |                |              |
| 妥当性確認機関名  | SGS ジャパン株式会社  |                |              |



<sup>1</sup> プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□(排出削減技術)を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

| プロジェクト情報                  |  |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|---------------------------|--|--|------------------|-----------------------------------|--------|-------|--------------|------|
| プロジェクト<br>概要 <sup>2</sup> | (具体的な内容を簡潔に記載すること。)  |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           | 【プロジェクトの目的・内容】<br>東日本大震災被災者向け集合住宅「手のひらに太陽の家」において、民生用ペレット給湯器、ペレットストーブを導入し、給湯用・暖房用熱源を従来の灯油・ガス等の化石燃料から木質ペレットに代替することで、CO2 削減に寄与するものである。                |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           | 【適格性基準との整合性】   |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           | 【条件1】木質ペレット給湯器およびストーブの導入により化石燃料等が削減される。なお、本プロジェクトにて使用されるペレット給湯器は最大熱出力 12,000kcal/h(13.953kW)を超えるものの、加温目的が事業用途ではない一般暖房等であることから方法論 E003 の対象設備と判断した。  |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           | 【条件2】栗駒木材及びけせんプレカットにて製造される木質ペレットの原料は、日本国内で産出された未利用の木質バイオマスである。   |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           | 【条件3】方法論 E003 付属書 A における、①適用範囲の特例を適用し、木質ペレットで代替される化石燃料等の種類は灯油とする。オフセット・クレジット(J-VER)の発行対象となる木質ペレットストーブの使用者のオフセット・クレジット(J-VER)制度への参加意思については、書面で確認する。 |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           | 【法令遵守状況】<br>ペレットの焼却灰は、登米市の定める廃棄物の処理方法に従って処分する。   |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           | 【採用技術】   |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           | (1)ペレットストーブ  |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           |  | 機器名称                                       | メーカー名            | 型番                                | 熱効率    | タンク容量 | 法定耐用年数       | 導入年月 |
| ①                         | ペレット給湯器  | さいかい産業                                     | TI-100           | 65%                               | 22kg   | 15年   | H24.5        | 給湯用  |
| ②                         | ペレットストーブ   | さいかい産業                                     | SS-10            | 93%                               | 25kg   | 6年    | H24.5        | 暖房用  |
| (2)木質ペレット製造施設             |  |  |                  |                                   |        |       |              |      |
|                           | 機器名称   | メーカー名                                      | 型番               | 機器容量                              | 法定耐用年数 | 導入年月  | 用途           |      |
| ①                         | ペレットボイラー   | D'ALESSANDROTE RMOMECCANICA<br>ダレスサンドロ・ボイラ | CSI-20<br>08-038 | 定格出力<br>24kW<br>定格消費電力:<br>0.24kW | 10年    | H21.8 | ペレット原料乾燥用    |      |
| ②                         | ふるい機   | 自社製作                                       | —                | 1.5kW<br>4POLE                    | —      | H21.6 | ペレットの選別      |      |
| ③                         | コンベア   | 日工(株)                                      | MC-35SP7M        | 出力 1kW                            | 5年     | H21.6 | 原料をペレタイザーへ運搬 |      |
| ④                         | コンベア   | 日工(株)                                      | MC-35SP2M        | 出力 1kW                            | 5年     | H21.6 | 同上           |      |
| ⑤                         | 昇降機  | (株)ホクエツ                                    | スチール昇降機7吋        | 0.2kW                             | 5年     | H21.6 | ペレットをふるい機へ運搬 |      |
| ⑥                         | 粉碎コンベア   | 日工(株)                                      | MC-50SP-6M       | 1.5kW                             | 5年     | H21.6 | 端材を粉碎機へ運搬    |      |
| ⑦                         | 粉碎機  | エノ産業(株)                                    | DA-850C          | 動力 45-75kW                        | 8年     | H21.6 | 端材を粉碎        |      |

<sup>2</sup> プロジェクト概要は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC 体制等に関することを 2 ページ以内で具体的に記述してください。

